AORFIX™ AAA ステントグラフトシステム 操作上のチェックポイント

操　作

1. CT読影及び正確なサイジングとプランニング ☐
2. メインボディの準備（フラッシュ、メインボディ前方側の確認） ☐
3. ボディトップ前方マーカーを透視下で確認。全体造影で分枝血管を確認 ☐
4. メジャー付カテーテルによる（メインボディ側）計測 ☐
5. フィッシュマウスの谷部が留置予定部位より上方に位置するよう挿入 ☐
6. 対側ソケットと同側リム末梢が適切な位置にある事を確認 ☐
7. C-Armを角度調整し腎動脈（必要に応じ上腸間膜動脈）の位置確認のため造影 ☐
8. メインボディフィッシュマウスまで展開　操作および位置確認 ☐
9. 必要に応じてデリバリーシステム全体を下げて留置位置の微調整 ☐
10. 必要に応じてフィッシュマウスマーカーが前後で重なるよう微調整 ☐
11. メインボディ対側ソケットまで展開　操作および位置確認 ☐
12. サポートチューブリリースを操作しステントグラフトを離脱 ☐
13. サポートチューブコントロールを操作し、サポートチューブの位置を下げる ☐
14. 同側内腸骨動脈起始部および同側リムの留置位置を確認し、同側リムを展開 ☐
15. サポートチューブ及びフレキシブルチップをアウターシース内に収納し、抜去 ☐
16. メインボディ中枢端から同側リム末梢端までのバルーニング ☐
17. 対側ソケットへのカニュレーション及び確認 ☐
18. 内腸骨動脈起始部の確認と対側リムの選択 ☐
19. 対側リム挿入前の準備及びガイドワイヤ交換 ☐
20. 対側リム留置位置の確認（対側ソケットマーカーとリムマーカーの位置確認） ☐
21. 対側リム展開後、サポートチューブリリースを操作してステントグラフトを離脱 ☐
22. サポートチューブ及びフレキシブルチップをアウターシース内に収納し、抜去 ☐
23. 対側ソケット接合部を含む、対側リム末梢端までのバルーニング ☐
24. 最終造影確認（問題の有無の確認） ☐
25. 追加デバイスの選択の判断、追加デバイスの操作上の確認・注意事項への配慮 ☐